

くにしていしせき  
国指定史跡

ひらさわかんがいせき  
～平沢官衙遺跡～

しょうそういん  
つくばの正倉院



ひらさわかんがいせき  
平沢官衙遺跡は、今から千年以上前の奈良・平安時代におかれた郡役所の跡とされる遺跡です。'平沢'は遺跡のある場所の地名で、'官衙'は古代の役所を意味します。

昭和50年(1975)の発掘調査で、重要な遺跡であることがわかり、昭和55年(1980)には国の史跡に指定されました。現在は史跡公園として、当時の郡役所の様子を復元し、多くの方に利用されています。



# 平沢官衙遺跡がつくられた時代

## ＜律令国家と地方の役所＞

7世紀中ごろ(約1350年前)から8世紀はじめにかけて、朝廷は中国にならい、律令(法律)にもとづき、天皇を中心とする国づくりを進めていきました。

全国を支配するしくみとして、'国-郡(評)-里(郷)'の制度が整えられ、地方の役所として、およそ60の国には国衙(国府)、郡には郡衙(郡家)がおかれ、それぞれ都の貴族(国司)、地域の有力者(郡司)が役人に任じられました。50戸で一里とする里(郷)の役所の存在はわかっていません。

## ＜常陸国と筑波郡＞

当時、茨城県の大部分は常陸国で、国衙は現在の石岡市におかれました。常陸国は11の郡がおかれ、つくば市は北部が筑波郡、南部が河内郡の範囲に含まれていました。

筑波郡衙については、発掘調査によって平沢官衙遺跡がその跡の一部であると考えられます。また河内郡衙についても、桜中学校周辺で遺跡が発見されており、こちらも金田官衙遺跡として国の史跡に指定されています。

## 奈良時代の常陸国と郡

※『新編常陸国誌』の「和銅中十巻郡図」を元に作図



## ＜税の制度＞

朝廷は地方の役所に、どこにだれが住んでいるのかを記録した戸籍などをつくらせ、それらをもとに人々に農地(口分田)を与え、とれた稲のほか特産品や人力作業(肉体労働)など、重い税を負担させていました。税の種類は右図のとおりで、租以外は男性のみにかけられ、年齢によっても差がありました。



## ◎奈良時代の主な税

租	口分田にかかる税で、稲の収穫の約3%を納めさせた。
調	絹や麻、海産物など各国の特産品を都に納めさせた。
庸	都で働く代わりに、布を納めさせた。
雑徭	国司のもとでの労働で、最大で年60日。
兵役	各国の軍団や都の兵士にされたり、防人として九州の太宰府に行かされた。
出挙	種となる稲を貸す代わりに、収穫時には多く返させた。



# 郡衙と正倉

## ＜郡衙の内容＞

郡衙は、政治や儀式を行う郡庁、租をしまっておく倉庫の正倉、国の役人等が泊まる館、食事に関わる厨家などからなり、郡司の下で多くの役人や人々が働いていました。

平沢官衙遺跡では、このうち正倉跡がたくさん見つかったよ！税として集められたお米などがしまわれていたんだね！



年代	時代
約1万2千年前 約2300年前	旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代
約1700年前	(飛鳥・白鳳時代)
710年 794年	奈良時代 平安時代
1185年	鎌倉時代

平沢官衙遺跡が主に利用された時代

## ＜正倉の役割＞

正倉には、ききんなどの非常時に備えて主に稲のもみがたくさんしまっておかれました。長年しまいつづけるのが目標だったため、もみが倉庫いっぱいになっても使われず、多くの倉庫がつぎつぎと建てられました。その結果、平沢官衙遺跡では、数十棟の倉庫が見つかります。



## ＜正倉があった場所＞

正倉には、高く乾燥した場所を選ぶこと、周辺には池をつくること、ほかの施設と離すことなど、いくつかの決まりがありました。これらは火災や盗難を防ぐ目的のほか、たくさんの倉庫をわざと小高い目立つ場所に建て、人々に朝廷や役所の権力の強さを見せつけるねらいもあったようです。ただし、発掘調査ではそのとおりでない場所からも見つかります。



# はくつちょうさ ひらさわかんがいせき 発掘調査された平沢官衙遺跡

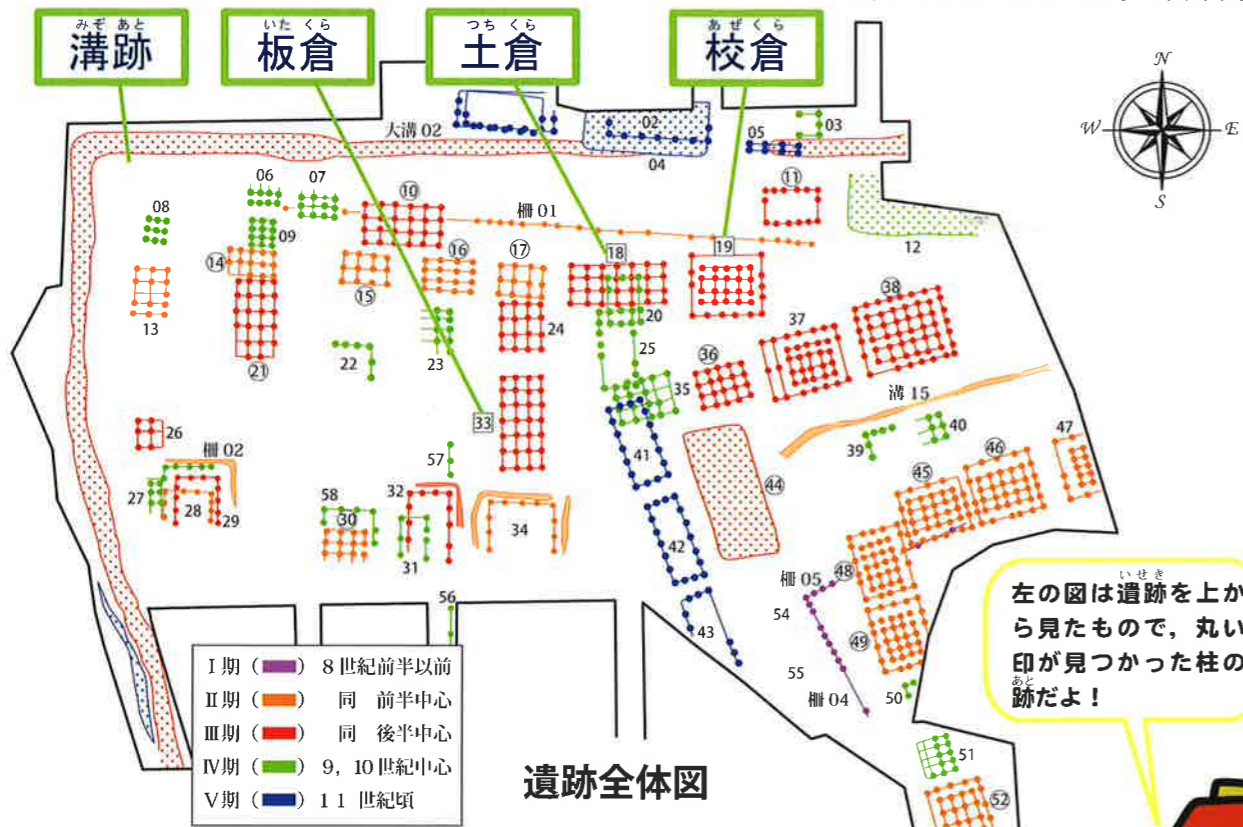
昭和40年代の終わり、平沢に住宅団地をつくる計画が持ち上がり、昭和50～52年(1975～77)に発掘調査が行われました。その結果、奈良・平安時代の大きな高床倉庫と考えられる建物が規則的に立ち並ぶ跡が見つかり、ここに筑波郡が衙があったと考えられるようになりました。

この発見によって、遺跡を守ろうとする運動が起き、昭和55年(1980)に「当時の地方の役所跡として重要である」という理由で、平沢官衙遺跡は国の史跡に指定されました。

その後、遺跡を歴史公園として復元整備するにあたり、平成5・6年(1993・94)に大がかりな発掘調査が行われ、溝で区切られた広い区域に、大きな高床倉庫と考えられる建物跡が整然と立ち並ぶという、遺跡全体の様子が明らかになりました。遺跡は現在、公園として整備され、3つの倉庫が復元されています。



板倉の柱の跡  
人の立っているところが柱の穴です。



遺跡全体図

オレンジと赤の部分が公園で復元されているもので、主に8世紀前半と後半の建物の跡です。律令体制が整ったこの時期に最も建物の数が多くなりました。

左の図は遺跡を上から見たもので、丸い印が見つかった柱の跡だよ！



# 建物の種類と出土物

発掘調査で確認される建物跡は、側柱建物と総柱建物の大きく2種類に分けられます。平沢官衙遺跡からは約60棟の建物跡が見つっていますが、床の高い倉庫(高床倉庫)跡と考えられる総柱建物が特に多く見ついていることから、ここが正倉跡と考えられる訳です。

<p>側柱建物 がわばしらたてもの</p>	<p>建物の外側だけに柱を立てた建物です。床が低い建物と考えられます。</p>		
<p>総柱建物 そうばしらたてもの</p>	<p>建物の外側だけではなく床面全体に柱が立っている建物です。高床式の建物と考えられます。</p>		

<p>掘立柱建物 ほったてばしらたてもの</p>	<p>地面に掘った穴(柱掘りかた)の中に柱を立て、建物をつくる方法です。通常は、1つの穴に柱を一本立てます(壺掘り)が、広い穴に2本以上の柱を立てる(布掘り)こともあります。官衙遺跡の柱の穴は非常に大きいのが特徴です。</p>		<p>礎石建物 そせきたてもの</p>	<p>石の上に柱を立て、建物をつくる方法です。建物の基礎は黒土・黄色土・砂などを交互に敷き固めてしっかりとした地面をつくりまします。建物全体で行う総地業の他に、布地業・壺地業という方法もあります。</p>	
------------------------------	---	--	-------------------------	--	--

平沢官衙遺跡は、人々がくらししていた場所ではなく、倉庫跡のため、当時の人が使っていた道具などはあまり見つかりませんが、写真にあるような土器や瓦が見つかります。これらはその形などから年代がわかります。



平沢官衙遺跡の出土物

いせき  
遺跡を見てまわろう！



ちが  
＜形が違う3つの倉庫＞

当時の地方の役所のことを記した書物には、正倉には違う形をした倉庫が何棟かずつあったことが記されています。平沢官衙遺跡の倉庫もそうだったと考えられるため、公園には建物跡の状況から3種類の倉庫が復元されています。どれも床を高くすることで、地面からの熱や湿気を防ぎ、ねずみなどの害から守ることができます。復元した倉庫の中は、一年中おおよそ同じ気温や湿度で保たれていることが機械で計ってわかっています。



あぜくら  
＜校倉＞

校倉造りといって奈良の東大寺の正倉院と同じつくりになっています。壁は、材木を「井」の字の形に積み上げてつくられています。建物の壁には、柱がありません。

【大きさ】  
幅 10.73m 奥行 7.27m  
高さ 9.16m 面積 61.33㎡

つちくら  
＜土倉＞

校倉造りと同じように束柱という太い柱が床を支えています。壁の板の上に土がぬられているので、土倉といいます。法隆寺にある平安時代の倉庫を参考に復元しています。

【大きさ】  
幅 19.38m 奥行 8.76m  
高さ 12.30m 面積 125.32㎡



いたくら  
＜板倉＞

壁が板でできているので板倉といいます。この建物だけ、太い柱は屋根を、細い柱が床を支えるというかたちになっています。

【大きさ】  
幅 17.09m 奥行 7.7m  
高さ 7.27m 面積 126.41㎡



いせき  
もっと知りたい！遺跡のあれこれ



いたくら  
＜板倉の中にある‘せき’＞

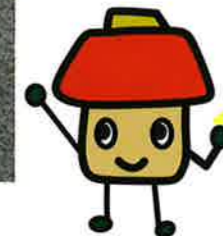
普段は見られませんが、板倉の扉の奥には、‘せき’という小部屋のようなものが設けられています。これは稲をもみのまま倉庫にしまった場合でも、扉の周りにこぼれてこないようにするためのものです。



‘せき’がないと、とびらが開かなくなっちゃうんだね！



かぎ えびじょう  
＜倉庫を守る古代の鍵：海老錠＞



倉庫にはお米を守るための鍵がついていたんだ。鍵がエビの形に似ているから海老錠と呼ばれているよ！

みぞ  
＜周囲をめぐる溝・柱の復元＞



みぞ溝は、盗難や火災から倉庫を守るために作られたんだよ。



建物の柱跡が復元されているよ。たくさんの建物があつたことが分かるね。



いせき  
＜遺跡の案内所＞

案内所では、平沢官衙遺跡についてのビデオやイベントの写真、遺跡から見つかった出土物を見ることができるんだ！





いせぎ  
**周辺の遺跡と文化財**



なかだいこふん  
**①中台古墳第1号墳**



さどがいわこふん  
**②佐都ヶ岩屋古墳(市指定)**



ひゅうがはいじあと  
**③日向廃寺跡(市指定)**



びしゃもんてんしゅういたび  
**④毘沙門天種子板碑(市指定)**



やさかじんじやごりんとう  
**⑤八坂神社五輪塔(県指定)**